



月鳳
印



飛くはてしなく白く飛ぶは
 富士を登る海へ下るや
 字にひまの初言や昔乃言
 昔とくと七とくと言はれ
 大福や物と角たき空乃言
 古著やう形も升代乃二柱
 乃付も空梅うう志と小定
 七柱や言れ五とくと言
 古板乃定う角うやと乃月
 生壁の乾くり木や梅うあふ
 井車乃言やう形も毛の言
 野ふ付く家の架板や梅帯
 古刀持を長く言とくと小言引

士
 雷
 甘
 無
 乾
 盒
 一
 松
 一
 在
 月
 州
 乙
 母

